MX100

取扱説明書

安全上のご注意

■ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠ 警告

付属品以外のAC電源アダプターは使用しない。
火災の原因になることがあります。

付属品のAC電源アダプターを他の機器に転用しない。
火災の原因になることがあります。

日本国外で使用しない。
本製品は国内仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。日本国外での使用は、火災・感電や故障の原因となります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない。
火災の原因になります。

電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。
火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

タコ足配線しない。
発熱により火災・感電の原因になります。

テーブルタップ（延長コード）を使用しない。
発熱により火災・感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

煙が出る場合、異常なにおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。

水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。
火災・感電の原因になります。

本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本機の内部に異物を入れない。
万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしない。
感電の原因になります。

調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。
火災・感電の原因になることがあります。

直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。
キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。
指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

ポート（背面開口部）に手を入れない。
感電やけがの原因になります。

⚠注意

濡れた手でコンセントを抜き差ししない。
感電の原因になります。

長期間本機を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない。
電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントの根元まで確実に差し込む。
電源プラグを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

電池は極性表示（プラス＋とマイナス－）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池と金属片を一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因となります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因となります。

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り出す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因となります。

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して､けがの原因になります。

移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因となります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは機械内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になります。

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

1 もくじ

▶ 本書について

- リモートコントロールでの操作を中心に説明されています。本体での操作については 6 ページをご覧ください。
- 本書に記載されている内容は、製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

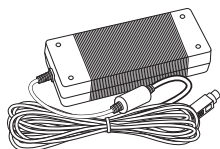
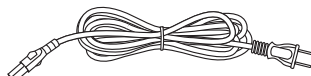
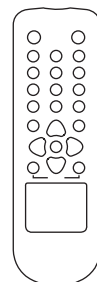
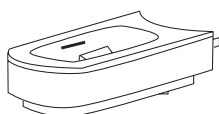
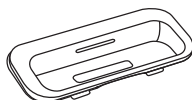
2 はじめに

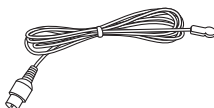
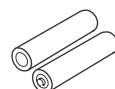
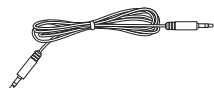
JBL MX100 の特長

- ◆ 面倒な配線不要の一体型
- ◆ 美しいボディシェイプ
- ◆ 本格 2Way ステレオスピーカーを搭載
- ◆ 30W × 2 の大出力アンプ
- ◆ 先進の DSP(デジタル・シグナル・プロセッシング)
- ◆ シンプル操作
- ◆ iPod、CD、FM に対応
- ◆ 便利なアラームクロック
- ◆ 高い拡張性の外部入出力端子
- ◆ iPod のメニュー操作も可能なリモコン

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

□ AC 電源アダプター

□ 電源ケーブル

□ リモートコントロール

□ 着脱式 iPod Dock

□ iPod ユニバーサル Dock アダプター(5 種類)

□ 光デジタルケーブル

□ FM アンテナケーブル

□ 単 4 乾電池(2 本)

□ 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル

□ 日本語取扱説明書(本冊子)
□ 保証書(日本国内 1 年保証、箱に添付)

3 各部の名称とはたらき

前面

（電源オン／スタンバイ）
JBL MX100 の電源をオンまたはスタンバイにします。
タイマー再生時に長押ししてタイマー再生を停止します。

SRC（ソース）
再生する入力ソースを切り替えます。12 ページをご覧ください。

＋／－
再生音量を調節します。
＋と－を同時に押すと、音声がミュート（消音）されます。

▶II（再生／一時停止）
CD や iPod の再生を開始または一時停止します。
長押しすると再生が停止します。

I◀◀／▶▶I（スキップ）、CH（チャンネル）＋／－
CD または iPod を再生しているときに、再生中、または次のトラックの開始位置にスキップします。
FM ラジオ使用時に押して、オート（自動）またはマニュアルチューニング（手動）を開始します。

（ヘッドホン端子）
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続している間は、JBL MX100 のスピーカーからは音声が出力されません。

IN（アナログ入力端子）
3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブルを使って外部機器を接続します。
この端子に接続した機器を再生するときは、AUX 2 を入力ソースに選びます。

ディスプレイ

背面

各端子の接続については 10 ページをご覧ください。

VIDEO OUT（コンポジット／ S ビデオ映像出力端子）
iPod で再生する動画や写真の映像を出力する端子です。
ビデオケーブル（別売）または S ビデオケーブル（別売）を使って外部モニターを接続します。

AUX IN（アナログ入力端子）
ステレオピンケーブル（別売）を使って外部機器を接続します。

ANTENNA（アンテナ端子）
付属の FM アンテナケーブルを接続します。

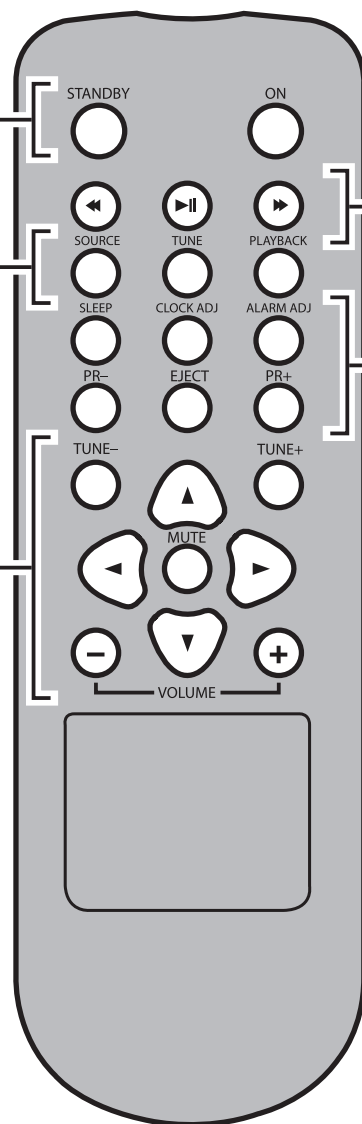
ANTENNA
FM75Ω
DC IN
24V 5A
120W
ANALOG/
DIGITAL
IN
AUX IN
SUBWOOFER
OUT
VIDEO OUT
S-VIDEO

DC IN（電源端子）
付属の AC 電源アダプターを接続します。

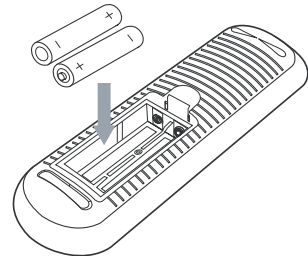
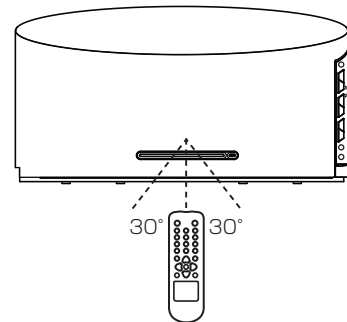
SUBWOOFER OUT（サブウーファー端子）
ピン（RCA）ケーブルを使ってサブウーファーを接続します。

ANALOG/DIGITAL IN（アナログ／光デジタル入力端子）
付属の 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブルまたは光デジタルケーブルを使って外部機器を接続します。

リモートコントロール

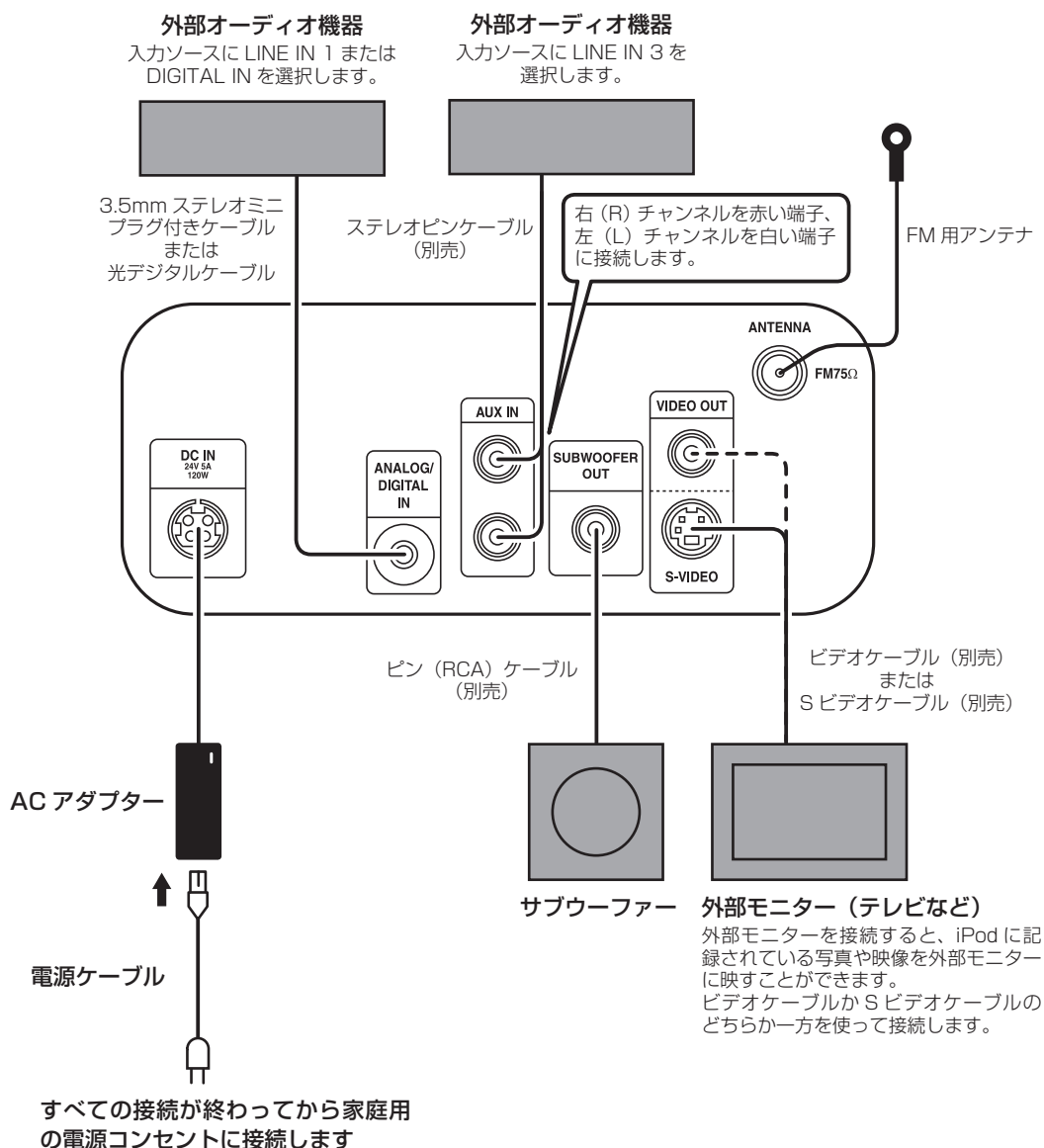
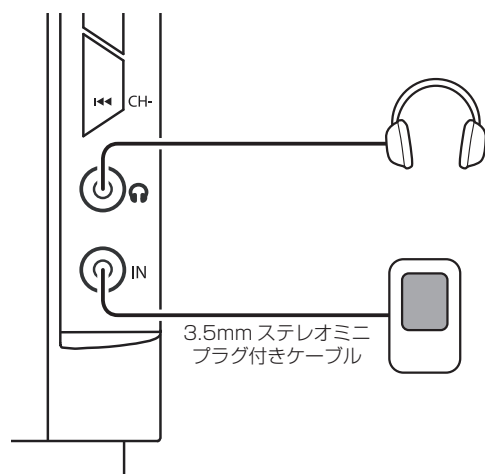
ON
JBL MX100 の電源をオンにします。
(→ 12 ページ)
STANDBY
JBL MX100 の電源をスタンバイにします。
完全に電源を遮断するときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
(→ 12 ページ)
SOURCE
再生する入力ソースを切り替えます。
(→ 12 ページ)
TUNE
FM ラジオ使用時に、オート（自動）チューニングモードとマニュアル（手動）チューニングモードを切り替えます。
(→ 16 ページ)
iPod の操作をコントロールします。
/ を押して現在の階層で項目を選択し、を押して決定します。
一つ前の階層に戻るときはを押します。
(→ 15 ページ)
JBL MX100 の音量を調整します。
＋を押すと音量が大きくなり、—を押すと音量が小さくなります。
(→ 12 ページ)
VOLUME
MUTE
音声をミュート（消音）します。
(→ 12 ページ)
TUNE+ TUNE–
FM ラジオ使用時に押して、オート（自動）チューニングまたはマニュアル（手動）チューニングを開始します。
(→ 16 ページ)
STANDBY
ON
SOURCE
TUNE
PLAYBACK
SLEEP
CLOCK ADJ
ALARM ADJ
PR–
EJECT
PR+
TUNE–
TUNE+
MUTE
VOLUME

ボタン	説明
►II	CD や iPod の再生を開始または一時停止します。 長押しすると再生が停止します。 （13、15 ページ）
◄◄ ►►	CD または iPod を再生しているときに押して、再生中のトラック、または次のトラックの開始位置にスキップします。 長押しすると再生中のトラックを早戻し、早送りできます。 （13、15 ページ）
SLEEP	JBL MX100 が自動的にスタンバイになるまでの時間を設定します。おやすみのときに使うと便利です。 （17 ページ）
CLOCK ADJ	スタンバイ時に押して JBL MX100 の時計を設定します。 （11 ページ）
ALARM ADJ	スタンバイ時に押して JBL MX100 のタイマー再生を設定します。 （17 ページ）
PLAYBACK	CD や iPod を再生しているときに、再生モードを切り替えます。 （13、15 ページ）
EJECT	ディスクを取り出します。 （13 ページ）
PR- PR+	繰り返し押してプリセット登録した放送局を呼び出します。 （16 ページ）

▶ 乾電池をセットする

乾電池ケース内部の指示に従ってプラスとマイナスを正しくセットしてください。

▶ リモートコントロールの使い方

JBL MX100 のリモートコントロール受光部に向けて使用します。

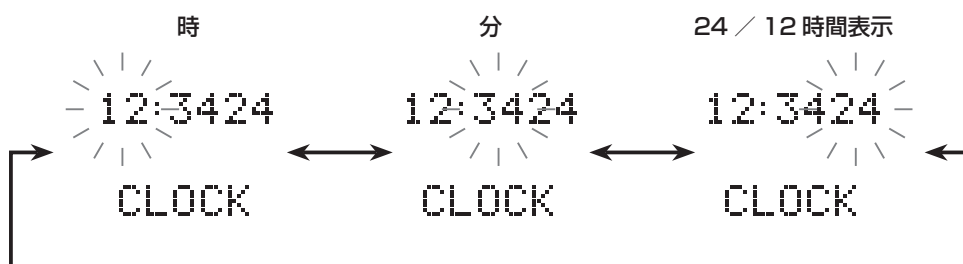
リモートコントロール受光部はディスクスロットのやや上にあります。

4 ご使用前の準備

外部機器、アンテナ、AC アダプターを接続する

▶ 背面

ヘッドホン
ヘッドホンを接続している間は、JBL MX100 のスピーカーからは音声が出力されません。

ポータブルオーディオプレーヤー
入力ソースに LINE IN 2 を選択します。

時計を合わせる

• ◀ / ▶ を押すと下図のように設定できる項目が切り替わります。

• ▲ / ▼ を押して各項目を設定します。

5 基本的な使い方

電源をオンにする

本機の電源がオンのときは、本体右側のボタンが青く点灯します。

▶ 電源をスタンバイにする

ご注意

本機はスタンバイ中も電力を消費します。電源を完全に遮断するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

音量を調節する

（音量を下げる） VOLUME （音量を上げる）

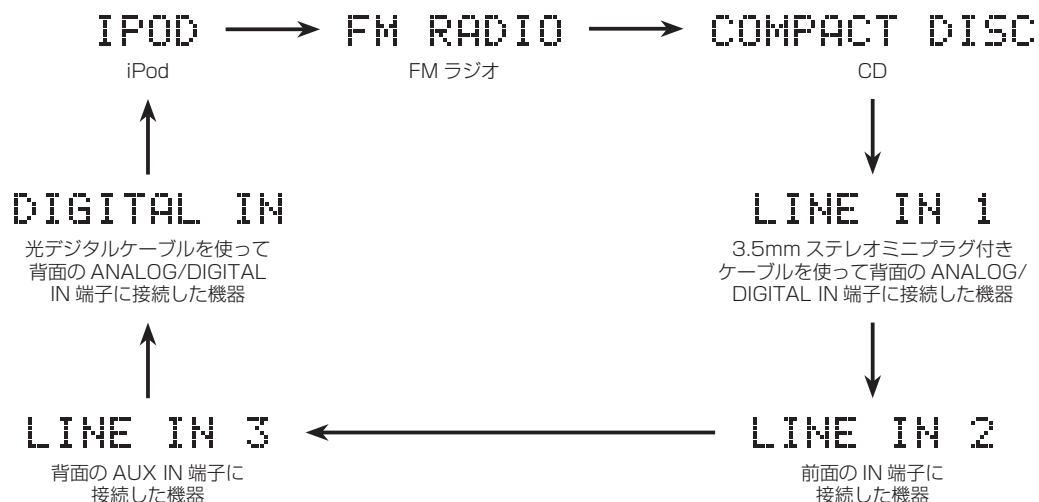
- 音量は 00（最小）から 30（最大）の間で調節できます。
- 電源をオンにした直後は、音量は 12 に設定されます。

▶ 一時的にミュート（消音）する

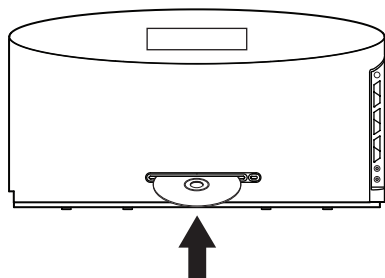
- ミュート機能が働いている間は、表示が点滅します。
- 再度 MUTE を押すとミュート機能が解除されます。

再生するソースを切り替える

（繰り返し押す）

ボタンを押すたびにソースが以下のように切り替わります。

6 ディスクを再生する

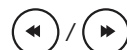
再生を開始する

印刷面を上にしてディスクスロットにディスクを挿入します。

▶ JBL MX100 が対応するディスク

- オーディオ CD
- CD-R
- CD-RW
- エンハンスド CD
- MP3 ディスク
- WMA ディスク

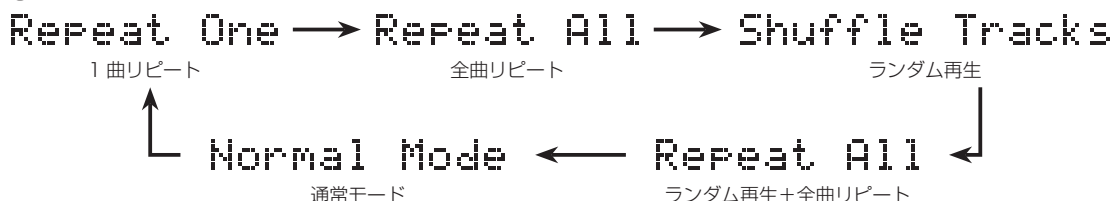
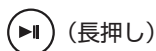
再生を一時停止する

再度 (▶II) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生をスキップする・早送り／早戻しする

(▶▶) を押すと次のトラックの先頭にスキップします。
(◀◀) を押すと再生中のトラックの先頭にスキップします。
(◀◀) を 2 回押すと前のトラックの先頭にスキップします。

(▶▶) を長押しすると、再生が早送りされます。
(◀◀) を長押しすると、再生が早戻しされます。

リピート／ランダム再生する

PLAYBACK を押すたびに、再生モードが以下のように切り替わります。

再生を停止する

再度 (▶II) を押すと、ディスクの先頭から再生が始まります。

▶ ディスクを取り出す

ディスクスロット右側のイジェクトボタンを押してディスクを取り出すこともできます。

7 iPod を再生する

着脱式 iPod Dock にお手持ちの iPod をセットする

① お手持ちの iPod に適合する iPod ユニバーサル Dock アダプターを着脱式 iPod Dock にセットする

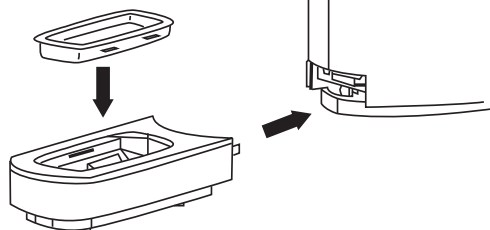
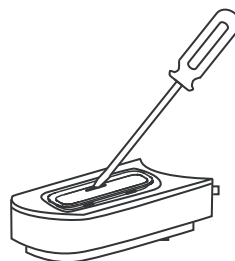
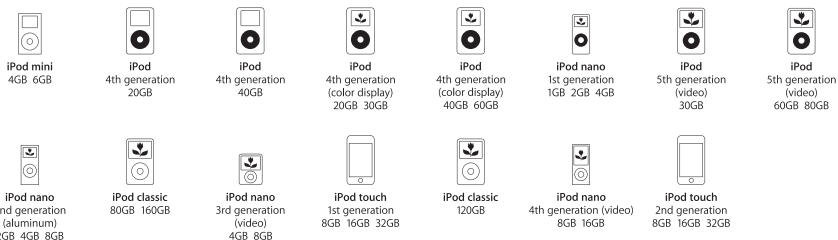
② 着脱式 iPod Dock を JBL MX100 にセットする

- iPod（第 5 世代以降、classic 含む)、iPod nano（第 1 世代以降)、iPod touch をお使いの場合
  - ➔ 各 iPod または JBL MX100 に付属のユニバーサル Dock アダプターを着脱式 iPod Dock にセットします。
- iPod（第 4 世代)、iPod Color Display、iPod photo、iPod mini をお使いの場合
  - ➔ 市販の適合するユニバーサル Dock アダプターをご購入の上、お手持ちの iPod に適合するアダプターを着脱式 iPod Dock にセットします。

③ iPod を着脱式 iPod Dock にセットする

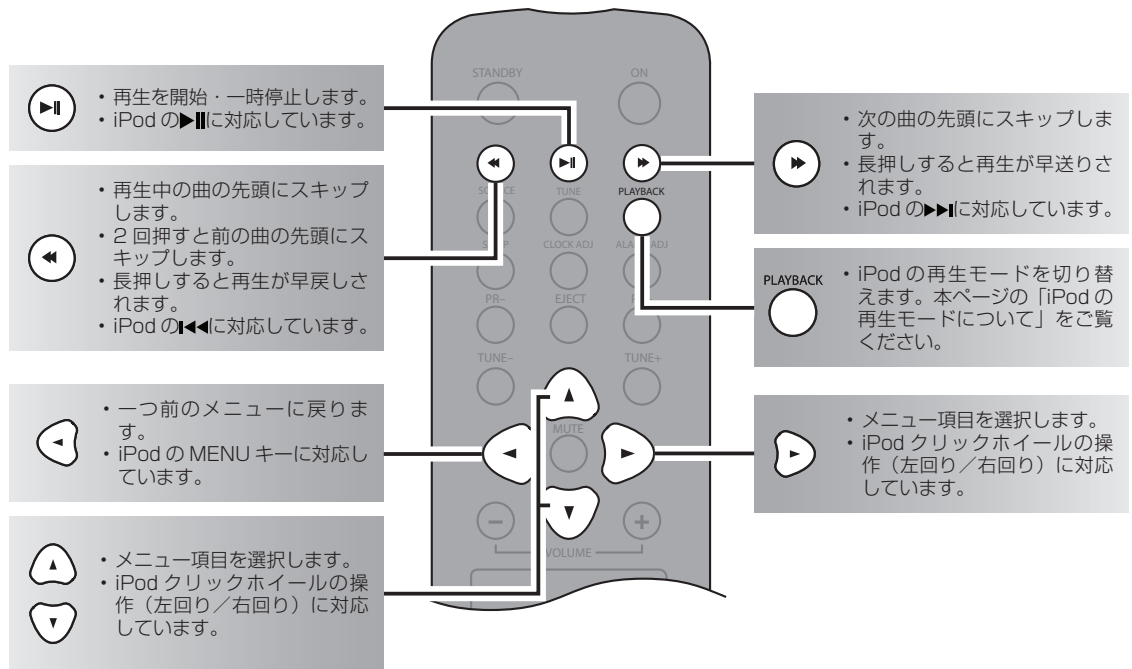
ご注意

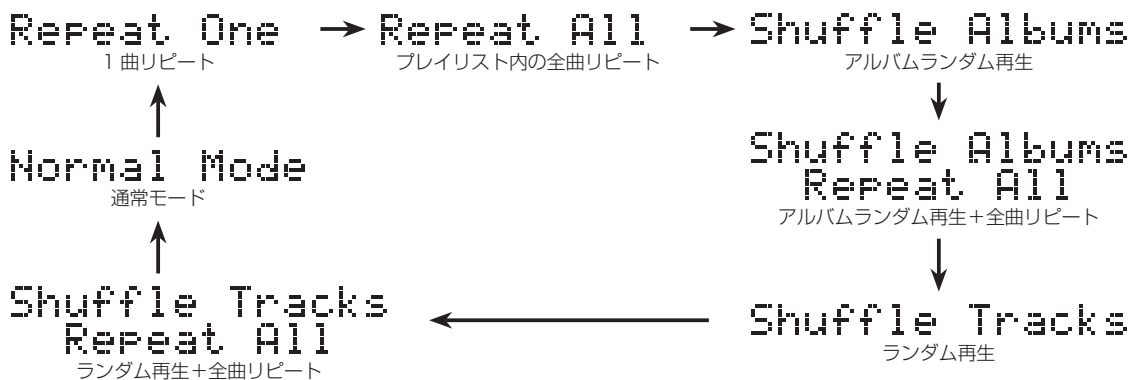
- ご使用になる iPod と適合しないアダプタを取り付けて Dock 接続すると、ぐらつきが生じ、双方の Dock コネクターを破損する可能性があります。
- iPod を取り外すときは、再生が止まった状態で取り外してください。

ユニバーサル Dock アダプターのツメ（2 カ所）を着脱式 iPod Dock の凹部に合わせてはめ込みます。

Dock アダプターを交換するときは、マイナスドライバーを使ってアダプターを取り外してください。

▶ MX100 に対応する iPod（2008 年 12 月現在）

iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple, Inc. の登録商標です。

ご注意

- iPhone、iPod（第 1、第 2、第 3 世代）には対応していません。
- お使いの iPod やファームウェアのバージョンによっては、すべての機能がお使いいただけない場合があります。
- iPod 第４世代、iPod photo、iPod color display、iPod mini は着脱式 iPod Dock に接続するときに「Device Not Supported」と表示され、ファイル情報と再生情報の表示はできません。音楽再生とリモコン操作は問題なく使用できます。（2008 年 12 月現在）
- 最新の iPod 対応状況については、弊社ホームページに掲載いたします。また、サポート情報はメールなどでもご案内いたしますので、オンラインご愛用者登録をお勧めいたします。
  http://www.harman-design.jp
- iPod のファームウェアアップデートによって、現在お使いいただける機能の一部が将来制限される可能性があります。

リモートコントロールで iPod の再生をコントロールする

▶ iPod の再生モードについて

PLAYBACK ◯を押すたびに、以下のように再生モードが切り替わります。

▶ 再生情報の表示について

再生中にはファイル情報（ファイル番号／プレイリスト内の総ファイル数）と再生情報（経過時間／曲の総時間）が JBL MX100 のディスプレイに表示されます。

▶ 動画・写真の再生について

iPod に記録された写真や動画を JBL MX100 に接続したモニターに映して再生することができます。

◀／▲／▼／▶で再生したい動画や写真を選択し、▶を押します。（写真を再生するときは▶を 3 回押します。）

ヒント

・再生を始める前に、iPod の「TV 出力」設定が「オン」になっていることをご確認ください。

8 FM ラジオを聞く

放送局を受信する

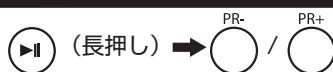
TUNE+ ◯ / TUNE– ◯

受信できる放送局を自動的にサーチし、受信します。

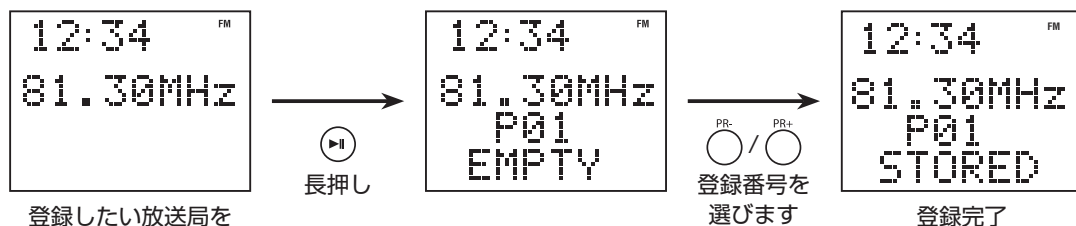
- 受信したい放送局の電波が弱く、選局できない場合などは、TUNE ◯を押して本機をマニュアル(手動)チューニングモードにしてから、TUNE+ ◯または TUNE– ◯を繰り返し押して目的の放送局を受信します。
- 本機をオート（自動）チューニングモードに戻すときは TUNE ◯を押します。ディスプレイに **AUTO** インジケーターが点灯します。

ヒント

- 受信状態がよくなるように FM アンテナの位置を調整してください。
- 電波の受信状態に応じて、自動的にステレオ受信とモノラル受信が切り替わります。

お気に入りの放送局を登録する

お気に入りの放送局を登録して簡単に呼び出すことができます。

登録したい放送局を受信します。

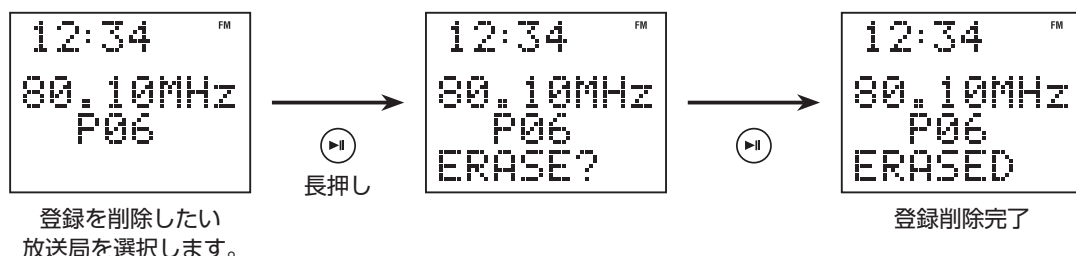
登録完了

- 最大 6 局を登録できます。
- 登録した放送局を呼び出すときは PR- ◯ / PR+ ◯を押します。

登録した放送局を削除する

（長押し）

「FULL」と表示されて放送局を登録できないときは、以下の手順で不要な放送局を削除します。

登録を削除したい放送局を選択します。

登録削除完了

9 タイマー機能を使う

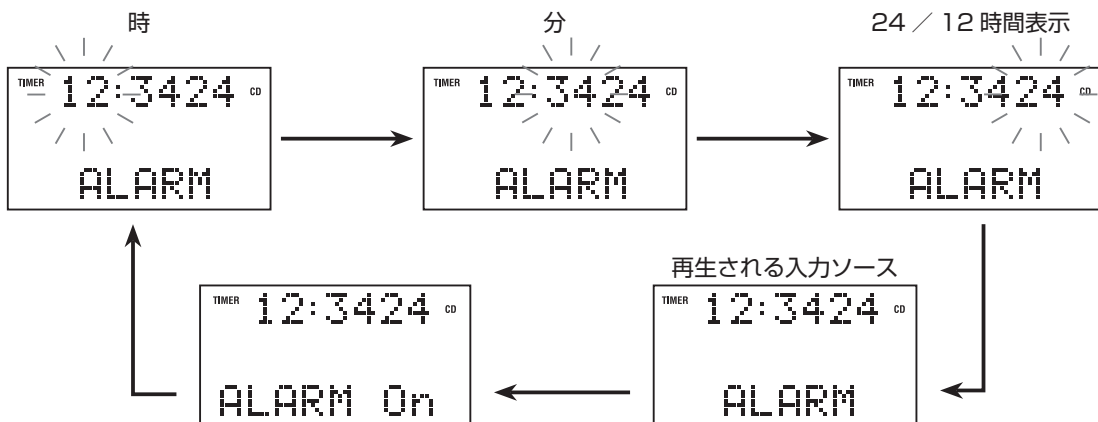
スリープタイマーを使う

SLEEP

設定した時間が経過すると JBL MX100 は自動的にスタンバイ状態になります。

10 分から 90 分まで、10 分刻みで設定できます。

タイマー再生機能を使う

- ◁ / ▷ を押すと下図のように設定できる項目が切り替わります。

- ALARM On を選ぶとタイマー機能がオンになります。
- ALARM Off を選ぶとタイマー機能がオフになります。

CD、FM、DOCK から入力ソースを選びます。

- △ / ▽ を押して各項目を設定します。
- タイマー機能がオンの間、ディスプレイに **TIMER** インジケーターが点灯します。
- タイマーで設定した時刻になると自動的に再生が始まります。
- 再生開始時の音量は 12 です。1 分間で最大の 30 まで音量が大きくなります。タイマー機能をオフまたはスヌーズにするまで、そのまま 10 分間再生します。その後、音量 12 に戻り、アラーム機能は解除された状態で再生を続けます。
- 本体またはリモートコントロールのボタンを押すとスヌーズ機能がオンになり、ディスプレイに **SNOOZE** インジケーターが点滅します。再生が停止し、9 分後に再度再生が始まります。
- スヌーズ機能を解除するときは本体の ⏻ を長押しします。

ご注意

JBL MX100 のタイマー再生機能は、およそ 1 分間で音量 12 から最大音量の 30 までアップし、タイマー解除を行わない限り最大音量の状態で 10 分間再生を続けます。その後、自動的に通常再生モードになり、音量 12 にダウンした状態でスタンバイスイッチを押すまで再生を続けます。長期外出される場合は、必ず設定を ALARM Off にしてタイマーを解除してください。

10 トラブルシューティング

原因	解決法
ON を押しても電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていることを確認してください。万一、ON を押したときに「PROTECT」と表示されるときは、すみやかに電源コードを外し、販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
電源は入るが、音が出ない。	MUTE を押してミュート機能がオンになっていないかご確認ください。
	− VOLUME + を押して音量を上げてください。
	入力ソースをご確認ください。外部機器をお使いの場合は、本機と外部機器の接続を確認し、外部機器で正しく再生が行われているかご確認ください。
	ヘッドホンを接続している場合は、ヘッドホンを外してください。
左右の音のバランスが悪い。	スピーカーに問題が発生している可能性があります。販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼してください。
リモートコントローラーで操作できない。	乾電池が消耗している場合は、乾電池を交換してください。
	リモートコントロールを本機のリモートコントロール受光窓（9 ページ）に向けて操作してください。
ラジオ受信時にノイズが混ざる。	ノイズが少なくなるよう、アンテナの位置を調整してください。
	アンテナの接続を確認してください。
接続したテレビやディスプレイに映像が映らない。	本機とテレビが映像接続（黄色）か S ビデオ接続のどちらか一方で接続されていることをご確認ください。
	iPod が入力ソースとして選ばれていることをご確認ください。
	お使いの iPod が本機に対応しているかご確認ください。（14 ページ）
	iPod の「TV 出力」設定が「オン」になっていることをご確認ください。
	iPod に写真やビデオが含まれていることをご確認ください。
	テレビやディスプレイの入力をご確認ください。
	写真を見るときは、▶ を 3 回押してください。

11 主な仕様

定格出力	30W × 2
スピーカー構成	2 ウェイステレオ （125mm 径パルプコーンウーファー、19mm 径チタンラミネートツイーター）
システム周波数特性	50Hz ～ 24kHz
CD プレイヤー部	［対応 CD］音楽 CD、CD-R/RW（音楽 CD、MP3、WMA） ［再生機能］ランダム再生、リピート再生
iPod Dock 部	ユニバーサルドックアダプタ対応 ［対応 iPod（2008 年 10 月現在）］第 4 世代クリックホイール以降の iPod、iPod classic、iPod nano、iPod mini、iPod touch ＊ iPhone には対応しておりません。
FM チューナー部	［受信周波数］76.0MHz ～ 90.0MHz　＊ AM チューナーは搭載しておりません。 ［関連機能］プリセットメモリー：6
クロック部	時刻表示、アラーム機能、スリープタイマー
音声入力	iPod Dock × 1、ステレオミニ× 1、RCA ピンステレオ× 1、S/PDIF 丸型（アナログ兼）× 1
音声出力	ヘッドホン（ステレオミニ）× 1、サブウーファー用（RCA ピン）× 1
他端子	iPod 用映像出力× 2（S 端子／コンポジット）、FM アンテナ用端子× 1 ＊ iPod 用映像出力は第 5 世代以降の iPod、第 3 世代以降の iPod nano、iPod touch、iPod classic に対応します。（2008 年 10 月現在）
電源電圧	AC アダプタ／ 100V ～ 240V（50Hz ／ 60Hz）
消費電力	80W 以下
待機時消費電力	1W 以下
サイズ	幅 488mm（Dock 装着時 585mm）× 高さ 252mm × 奥行 194mm
重量	7kg
付属品	AC 電源アダプター× 1 電源ケーブル× 1 リモートコントロール× 1 着脱式 iPod Dock × 1 iPod ユニバーサル Dock アダプター（5 種類）× 1 光デジタルケーブル× 1 FM アンテナケーブル× 1 単 4 乾電池（2 本）× 1 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル× 1 日本語取扱説明書（本冊子） 保証書（日本国内 1 年保証、箱に添付）

＊仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

＊対応 iPod などの最新情報は http://www.harman-design.jp/ をご覧ください。

▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

http://www.harman-design.jp/

このアドレスでトップページにアクセスし、「ご愛用者登録」をクリックしてください。

携帯電話からはご登録できませんのでご注意ください。

※ご愛用者登録でご不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせください。
E-mail:support@harman-multimedia.jp
Tel. 050-5561-1560

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。
http://www.harman-design.jp/
日本国内のアフターサポートに関するお問い合わせは、ハーマンインターナショナル株式会社　東京サービスセンターまでご連絡ください。

ハーマンインターナショナル株式会社 東京サービスセンター
〒 135-0033 東京都江東区深川 1-6-29　結城運輸倉庫（株）内
Tel. 050-5561-1560
E-mail:support@harman-multimedia.jp
http://www.harman-design.jp/